



**眼科手術は
低侵襲手術の時代①
(白内障について)**

眼科の手術機械は2000年を境に大きく発展しています。メーカーや天才的な先生方が知恵を絞り、いかに侵襲が少ない手術が出来るかをそれぞれ競うように開発しています。

年ちよつと前まで眼球と与え手術しやすい環境に6mmの切開創を作り、眼内レンズを挿入し、縫合して行きました。現在は眼内レンズを2mm強の切開創から挿入でき、縫合せず術後の炎症も劇的に少なくなりました。この眼内レンズの普及が、日帰り白内障手術が可能になりました。ただ、切開創の問題だけでは低侵襲とはいえません。短時間のうちに手術を終わらせることも一つの低侵襲と思われ、その手術をするために、極端に眼球に負荷を

与え手術しやすい環境に6mmの切開創を作り、眼内レンズを挿入し、縫合して行きました。現在は眼内レンズを2mm強の切開創から挿入でき、縫合せず術後の炎症も劇的に少なくなりました。この眼内レンズの普及が、日帰り白内障手術が可能になりました。ただ、切開創の問題だけでは低侵襲とはいえません。短時間のうちに手術を終わらせることも一つの低侵襲と思われ、その手術をするために、極端に眼球に負荷を

伊藤 勇
保谷伊藤眼科院長
大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

042-439-8123
西東京市北町 1-6-1
レッツビルディング 3F
http://www.itoganka.com/
■科日：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術、白内障手術、眼科一般診療
■時間：水・土曜午後、日曜、祝日は休診
※緊急手術は随時対応 ※月・金曜午後は予約優先

	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	○	○	○	○	○
14:00~17:00	検査・診察	手術	手術	手術	検査・診察	検査・診察	検査・診察